

編集後記

『真実心』第八集をお届けします。

本集では、何人かの先生方が、『歎異抄』に記されてある「つくべき縁あれば伴い、離るべき縁あればはなる」との言葉を引用して、お話しになっています。

思えば本学で皆さんと実際に接することのできるのは、四年または二年というごく短い期間にすぎません。その間にこの宗教講座に触れて、自分の生き方に何らかの示唆を得られる方もあると思います。よき縁に会われたという外ありません。

しかし、大多数の学生諸姉にとって、本書に収められた講話の数々は、むしろ高尚で、自分とは縁遠いことと感じておられるのではないでしょうか。

宗教の話は、学長も言われるように、非日常を扱います。本書の内容が、今すぐに皆さんの役に立つとは思いません。しかし、何年、何十年後、皆さんが人生の岐路に立たれた時、ふと手に取って、新たな感懐とともに再読していただける、そのような役割を荷った書物となれば

と願います。

皆さんのご健勝と活躍を念じつつ。

一九八七年三月

編集者記

一九八七年三月一八日発行

眞 実 心 第八集 非売品

発行所 光華女子短期大学

〒615 京都市右京区西京極葛野町三八番地
電話 〇七五・三二二・一七八三(代)

印刷 (株) 吉川印刷工業所

〒601 京都市南区吉祥院道中町四五―一
電話 〇七五・六九一・八一八六(代)